

■平山郁夫 画家。生涯、東京芸術大学に在籍し、文化財保護等、枠を超えて発言・行動し続け、日本の美術界に君臨した。

ひらやまいくお
海軍軍縮条約1930= 瀬戸内海の生口島(広島県豊田郡瀬戸町)で、代々続く大地主平山峰市の次男に生まれる(8人兄弟)。
満州事変・・・1931= 1歳：

恵まれた環境のなか、_母ヒサノから絵を描くようにしつけられ、褒められて、好きになって行く。

日中戦争始・・・1937= 7歳：
第二次大戦始1939= 9歳：
日米開戦・・・1941=11歳：
・・・1942=12歳：
創価学会検挙1943=13歳：
敗戦・・・1945=15歳：

水泳が得意で、小学校5年に大会に出場、2位に終わると、翌年は、猛練習して優勝したように、早くから、負けず嫌いの性格が露わであった。
広島市の私立修道中学に入学(敗戦後は、忠海中学校に転校)、時代の子として、歴史に夢中になり、世界を征服するといった野望を抱くようになる。3年在学時、*学徒勤労働員先で被爆も、怪我無く生還。
_祖母の兄で、同期の妻田春草の妻に金工に転進した清水南山から、一流画家になれと勧められ、

新憲法施行・1947=17歳：卒業。_実技はだめだったが、それ以外の成績が抜群で、東京美術学校(美校)日本画予科に最年少入学、
極東裁判決・1948=18歳：_女子美から芸大に入り直してきた年上でクリスチャンの松山美知子と同級になり、
独立回復・・・1951=21歳：_新制度による東京芸術大学(芸大)の発足にあわせて、美校時代の主任教授安田靉彦はじめ、小林古径、梅原龍三郎ら錚々たる大家が総退陣、新たに、画壇の実力者前田青邨が主任教授に迎えられ、

メデー事件・1952=22歳：_美校最後の卒業制作で、美知子の「坐像」が主席、自分の「三姉妹」が次席で、ともに芸大最初の買上げになって卒業。前田青邨の意向で、女性1号の美知子とともに、芸大の副手になり、二人の関係も一気に進む。
テレビ放送始・1953=23歳：_日本美術院展に「家路」初入選。以後、院展を中心に活動。学校運営には素人だった青邨を実務面でサポートして、助手に抜擢され、学長で退官するまで、生涯を芸大に奉職することになる。

自衛隊発足・1954=24歳：娘美知子との交際を知った松山常次郎(戦前代議士で公職追放になり引退)にも気に入られて、教会での結婚を命じられ、仏教徒であるのに、プロテスタントの洗礼を受けて、靈南坂教会で婚約式、
55年体制始・1955=25歳：_青邨の媒酌で美知子と結婚し、日本美術院院友に推挙されるも、原爆後遺症が発症、スランプに陥るが、_母からの仕送りと富裕な松山家で生活に困らず、夫の野望に賭け、秘書役に徹する美知子に支えられ、

なべ底不況・1957=27歳：
美智子妃・・・1959=29歳：*閃いた玄奘三蔵をテーマにした「仏像伝来」が入選、河北倫明から高評価されて、転機となり、
安保闘争・・・1960=30歳：仏伝シリーズの制作を始め、「天山南路(夜)」を出品、_早くも、成増にマイホームを建設するが、
タイタイ病始・1961=31歳：_実家が破産状態という事態に、義父が脳溢血で急逝、それが自身の誕生日だったことから思いついた「入道

繁幻想」で大観賞、東京国立近代美術館買上げ、日本美術院特待に推挙と、プロの画家として確立。
全国総合計画1962=32歳：代々木ゼミナールの芸大予備校開設に関与。_「受胎霊夢」も大観賞、モスクワでの「日本現代美術展」に「仏像

伝来」が自作初の海外出品、第1回ユネスコ・フェローシップに応募、合格しヨーロッパ留学、
TV宇宙中継始1963=33歳：「建立金剛心図」で奨励賞、(白寿賞・G賞)受賞。_野望への道が開き始め、
東京リビック1964=34歳：講師。_「仏説長阿含経巻5」「続深海曼荼羅」で文部大臣賞、史上最年少で、日本美術院同人に推挙される。
いざなぎ景気1966=36歳：_「村越画廊」の日本画グループ「轟会」に参加、トップ画商村越伸の後押しで、作品は超高額になって行き、
美濃部都知事1967=37歳：約1年、法隆寺金堂壁画再現事業に従事。_資産処理の関係で、トップ政治家との付き合いが始まり、
震ヶ関ビル・1968=38歳：*アフガニスタンほか中央アジアに仏教伝来の源流を訪ね、帰国個展が大盛況で、シルクロードの画家に。
全共闘バーク・1969=39歳：助教授。この間、_青邨が皇太后の絵の先生だった関係で、皇后はじめ、皇室との付き合いも深まる。

ドムック・・・1971=41歳：下田の須崎御用邸の完成に、居間に飾る風景画を献上。
日本国交回復1972=42歳：_鎌倉二階堂に豪邸を建設し、転居。
石油ショック1973=43歳：_教授。文化庁から高松塚古墳壁画の現状模写を委嘱され、翌年にかけて、責任者として従事。
クアアール事件1975=45歳：_日本美術家代表団の一員として、初めて訪中、続いて日本文化美術家友好訪中団の団長の機会を得て、再

訪中、以後、国際的な活動が中国が軸に、文化財赤十字を提唱して、世界的な保護活動に取り組み始め、
田中角栄逮捕1976=46歳：_日本芸術大賞。新作による「平山郁夫とシルクロード展」。中東各国で、平山郁夫日本画展開催。
成田衝突・・・1978=48歳：_「画禅院青邨先生還浄図」で内閣総理大臣賞。以後、巧妙なメディア戦略で、自らの価値を高めて行く。
革新大敗北・1979=49歳：アテネ・北京・広州で展覧会。生涯唯一の原爆モチーフ「広島生変図」。_初めて敦煌の莫高窟を訪れると、
貿易摩擦問題1980=50歳：{轟会}の縁による{山種証券}社長の紹介で、薬師寺玄奘三蔵院壁画を描くことになり、絵所開きの式。
中曽根内閣・・・1982=52歳：*芸大敦煌学術調査団の団長として、翌83年、85年、87年と三回、現地調査をし、
デイズニエラント・1983=53歳：最も親しい政治家だった竹下登の議員在職25年記念の肖像画を描いている。
・・・1984=54歳：外務省日本中国文化促進代表団に参加。

ジャンボ機墜落1985=55歳：北京中央工芸美術学院外国人名誉教授となる。つくば科学万博の国連平和館に「平和のキャラバン」展示。
リクルート事件・1988=58歳：美術学部部長。_敦煌の石窟を保護するため、日中両政府の協定で、文化財保護振興財団が設立される。それ

までの活動が評価され、日本人、画家として初のユネスコ親善大使になり、海外での活動が飛躍。
昭和天皇没・1989=59歳：スミソニアン博物館にエノラ・ゲイを取材し画も遺す。古代オリエント博物館で敦煌遺跡保存協力展。日本

橋本龍一・・・1990=60歳：天皇在位60年記念金貨をデザイン。高額所得者番付の常連で、この年の納税額は、ダントツの3億円超え。
ソ連崩壊・・・1991=61歳：取手キャンパス開設。_アンコール遺跡救済委員会の第1回調査団団長としてカンボジア訪問。フランス国立ギ

ム東洋美術館で日本人画家初の個展「平山郁夫シルクロード展」開催、フランス政府よりコマンドール。
バブル崩壊・1992=62歳：早稲田大学名誉博士。納税額は5億5千万円と、美術界ダントツの一位。_第4代日本中国友好協会会長。世界

平和アピール七人委員会委員。欧米の主要な美術館を歴訪、館長らと保存修復について会談。
55年体制終・・・1993=63歳：_アンコール遺跡救済特別企画「平山郁夫の眼と仕事」開催、国内各地、世界左3都市を巡回。文化功労者。

自社と連立・・・1994=64歳：「敦煌石窟文物保護研究陳列センター」開所、アンコール遺跡修復事業開始。_文化財保護振興財団理事長。
わかしん事件・1995=65歳：南京城壁保存修復協力事業の偏った歴史観や、国立大学学長ながら文化人部門トップの収入が批判され、盗

作疑惑も出てきて、_学長満期を機に定年前に退官。ダボス会議でクリスタル賞、世界文化財赤十字構想について講演。世界文化遺産に関するユネスコ事務局特別顧問に就任。モンブラン国際文化賞。
・・・1996=66歳：日本育英会会長。*日本美術院理事長に就任、歴代理事長が90歳近いのに、70歳前に画壇の頂点に立つ。京

都でのユネスコ世界遺産国際シンポジウムで基調講演し、フランスからはレジオン・ドヌール勲章。
金融破綻・・・1997=67歳：郷里瀬戸田町に、_「平山郁夫美術館」開館。高句麗古墳壁画学術調査団団長として朝鮮民主主義人民共和国

を訪問。以後、世界遺産登録に尽力。ユネスコから、世界文化遺産保護への貢献に対して金メダル表彰。
・・・1998=68歳：「平山郁夫のメッセージ展～パーミヤンの大石仏を守ろう～」開催。ウズベキスタンでの「中央アジア遺産保

存協力政府ミッション」に特別顧問として参加。ニューヨークでの世界銀行・ユネスコ共催国際会議「文化遺産と持続可能な開発」で講演。院展画家ゆえ芸術院会員にはなれなかったにもかかわらず、文化勲章。
石原都知事・1999=69歳：学長時代の事業、芸大美術館が完成。_東洋人として初めて、米スミソニアン協会からジェームズ・スミ

ン賞。フランス学士院の碑文・文芸アカデミー外国人会員に選ばれ、パリの同学院で認定式。
・・・2000=70歳：日本中国友好協会創立50周年にあたり、日中文化交流使節団の団長として、政財界総勢5千余人を率い

て訪中。_取材に20年、制作に20年を費やした奈良薬師寺玄奘三蔵院の「大唐西域壁画」を完成し、奉納。
小泉9.11テロ2001=71歳：早大に奇妙な大作「三聖人 平和の祈り」寄贈。_前年、タリバーンがパーミヤン大石仏を破壊したことに、抗

議のアピール。フィリピン人のマグサイサイ賞。国際交流基金賞。芸大の危機に、前代未聞の学長再任。
小泉北朝鮮・・・2002=72歳：中国で、初の日本人画家となる大画集が出版される。_中国政府より文化交流貢献賞。来日中の国連のプラ

ヒミ・アフガニスタン担当事務総長特別代表と会談。所蔵するアフガニスタンの文化財や古美術品をカーブル博物館の復興に役立てたいと申し出、カーブルでのユネスコ主催の国際会議に出席、パーミヤンの石仏などの

仏教遺跡は復元せずに、「負の遺産」としてそのまま保存すべきと提言し、カルザイ大統領とも会見。
イラク戦争・・・2003=73歳：「流出文化財を守れ～アフガニスタンそしてイラク」展開催、翌年かけ、全国7会場を巡回。
・・・2004=74歳：山梨県長坂町に、妻美知子が館長の{平山郁夫シルクロード美術館}が開館。_画家としての長年の業績と、

文化遺産保存への国際的貢献が評価され、朝日賞。登録に尽力した高句麗古墳群がユネスコ世界遺産に登録され、韓国政府より修交勲章興仁章(2等級)。
小泉郵政選挙2005=75歳：村越伸が死去。_学長退任、東京国立博物館特任館長。新作による「平成の洛中洛外図展」は大盛況、
・・・2006=76歳：文化財赤十字にもとづき「平山法」と呼ばれる「海外の文化遺産保護に関わる・・・法律」が超党派で成立、
・・・2007=77歳：山梨県北杜市に{平山郁夫シルクロード美術館}の新館。パリの{三越}での「日本画」今院展」開催を主導。
民主党政権・・・2009=79歳：_院展に「文明の十字路を往く」を出品したのを最後に、脳梗塞により、没した。
大宮知士信「平山郁夫の真実」、